



I

ア…⑤ イ…⑥ ウ…③ エ…③ オ…①
カ…② キ…④ ク…④ ケ…⑤ コ…⑩
サ…⑨ シ…⑨ ス…⑤

II

ア…② イ…③ ウ…④ エ…①, ③, ④, ⑤ オ…①
カ…④ キ…① ク…④ ケ…④, ⑤ コ…⑩
サ…② シ…⑩

III

ア…③, ④, ⑨ イ…②, ⑤, ⑦ ウ…②, ⑤ エ…④ オ…②
カ…①, ③ キ…⑤ ク…⑩ ケ…⑥ コ…③

【講評】

I : 問3, 問5は知識から少し考察する問題。問9の計算問題は1分あたりに換算するが間違えてほしくない。全体として平易で1問間違え程度に抑えておきたい。

II : 問4の知識が細かく完全解答は厳しい。問5のチミンダイマーも細かい知識である。問6は知識をもとに考察する問題である。ここまでの間違いをできるだけ少なくしておきたい。三点検定交雑の問題は標準的である。問9は F_1 がつくる配偶子のうち二重乗換えによりできる配偶子の遺伝子型を答えればよいのではないか…。問10はAB間とAC間の組換え価を掛け合わせるだけの問題だと思われる。ただ、交配結果から、AB間の組換え価が20%、AC間の組換え価が10%、BC間の組換え価が両者を足した30%であることから、二重乗換えは起こらないと考えた場合、00.0%となる。

III : 発生の実験の中でも、軽く扱う程度のニワトリの皮膚の実験からの出題。解いたことのない受験生には厳しい問題。問1～問2は定番の問題。問4と問5は目新しい問題であり答えにくい。問6のキとクは体節に属すと考え、位置関係から表皮に接したクを真皮、脊索に近いキを背骨と考えればよい。

解答数はやや少なく、知識問題が多いので、時間的には余裕がある。ところどころに引っ掛かりやすい問題がある。一次合格には75%程度、正規合格には80%程度の得点が必要と考えられる。